

事業所名 多機能型事業所 運動療育センター キートスピード

## 支援プログラム（参考様式）

作成日 2025年 7月 1日

法人（事業所）理念	くらしに作る確かな安心 ”確かな安心”・・・それぞれの分野での専門的な見解及び取り組みによって、方向性が定まり、見通しが立った状態 日々の暮らしの中にある不安や壁を、専門的な観点で解決に導くお手伝いをします		
支援方針	子どもを主体とした支援を行い、子どもがいきいきとできるような環境、支援を提供します。 子どもの「できた」こと、成長した点を保護者と共有し、感動を共感出来るよう支援を提供します。 運動療育を通じて、カラダ・アタマ・ココロを育み、日常生活や社会生活に必要な能力を身につけるサポートをしています。		
営業時間	9時30分から	18時30分まで	送迎実施の有無 (あり) なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	主に健康的な生活を送れることを目的とし、それらのために種々の支援を組み合わせる支援を行う。具体的な支援として、特定の時間を療育活動と設定し、スケジュール通り行動することを学ぶ。身の回りの整容を学ぶように、活動等で使用した道具の片付けや消毒、フロアの清掃・来所時の手洗いなどを日常生活上で必要な行動を習慣づけられるよう支援を行う。	
	運動・感覚	身体の運動機能を強化する事によって、日常生活・自身の社会性を拡充することを目的として支援を行う。具体的な支援としてリズムジャンプ・有酸素運動・スキルトレーニング・学校体育を行い、運動を通して感覚や協調性の活性を図る。 また、いずれの運動機能においても、段階的に身につけられるよう個々人に適したプログラムを策定し支援を行う。	
	認知・行動	対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目指し、種々の支援方法を組み合わせる提供とする。具体的な支援として集団での活動や、お出かけなどで社会のルールや行動を学び、その中から集団で過ごすための情緒の安定を学ぶよう、スタッフからの声掛けなどの支援を行う。また活動において成功体験だけでなく失敗体験も積ませることで、失敗に対して対応できるより柔軟なところを身につけられるよう支援を行う。	
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上を行い、結果として様々な状況に対応できるようコミュニケーション力を身につけられるよう支援を行う。具体的な支援として他の児童との関わりを持てるように活動は集団で行い、適切な言葉遣いやコミュニケーションを学ぶよう、適宜スタッフの言葉かけを行う。	
	人間関係 社会性	遊びや活動を通じて社会性の発達を促し、仲間づくりと集団への参加を目指し支援を行う。 具体的な支援として、種々の活動は集団で行い、他の児童とのコミュニケーションを取れるような環境を準備し、その上でスタッフが介入しながら、人間関係の取り方、距離感などを学ぶようにする。	
家族支援	保護者様の子育てに関する悩みなどに関して、事業所での様子などの情報交換と、それらを踏まえたうえでの助言・相談を行う。	移行支援	ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備としての支援を行う。主にコミュニケーションへの支援を、集団での活動を通して支援をし、より多くの人と関わることが出来るよう支援を行う。
地域支援・地域連携	将来的に子どもたちが地域で生活する上で、より生きやすい社会を作ることを目標とした包括的な支援を行う。そのために医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携、個別のケース検討のための会議への出席等を適宜行う。	職員の質の向上	必要に応じて公的な外部研修に参加し、それらの内容を社内のスタッフに伝達する社内研修を併用しながら、スタッフの知識と技術の向上を図る。
主な行事等	季節の移り変わりを感じられるように、各季節に沿ったイベントを開催する。例として、夏祭り、お出かけ、体育館での活動など。単一の事業所だけでなく、可能な限り複数の事業所で協力して開催し、あまり接することのない利用者同士の関わりが持てる機会を用意する。		